

松尾地区地域審議会会議録

会議の名称	松尾地区地域審議会（平成24年度第2回）		
開催日時	平成24年9月28日（金）	開会	16時15分
		閉会	18時05分
開催場所	市役所 第7会議室		
議長氏名	奥田 政美		
出席者氏名	別添出欠席者名簿のとおり		
欠席者氏名	〃		
事務局氏名	〃		
会議 事項	議 題	会議結果	
	(1) 地域振興基金運用計画（案）について (2) その他	(1) 平成25年度及び平成26年度の地域振興基金運用計画が承認された。 (2) 特になし	
会議の経過			
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興基金運用計画書（案） ・意見書 		
その他必要事項			
会議録の確定			
確定年月日	署名委員		
平成25年3月31日	土屋 秀雄		
	北田 明夫		

出 欠 席 者 名 簿

松尾地区地域審議会委員		
職 名	氏 名	出欠
会 長	奥 田 政 美	○
副会長	大 津 秀 夫	×
委 員	小 椰 昌	○
委 員	北 田 明 夫	○
委 員	北 田 正 之	×
委 員	齊 藤 澄 子	×
委 員	地布久 勝 夫	×
委 員	鈴 木 超	×
委 員	土 屋 秀 雄	○
委 員	野 中 学	○
委 員	秋 葉 利 一	○
委 員	大 橋 一 雄	○
委 員	押 尾 虎 夫	○
委 員	周 東 慶 幸	○
委 員	古 川 栄	○

執行部・事務局		
所 属	職 名	氏 名
松尾出張所	所 長	小 堀 英 信
企画政策課政策推進係	係 長	竹 宮 哲 哉

出席職員数 2 名

出席 10 名 欠席 5 名

(会議経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>本日の会議は議事録の作成上、会議内容を録音させていただいております。大変申し訳ありませんが、ご発言の際には必ず挙手のうえ、議長の指名を受けた後にお名前を述べた上でご発言をお願いいたします。それではお手元の会議資料に従い、進行させていただきます。</p>
会長	<p>初めに、奥田会長よりご挨拶を頂きます。宜しくをお願いいたします。</p> <p>各地区合同会に続きお疲れのところ恐縮でございますが、ただいまから平成24年度第2回松尾地区地域審議会を開会いたします。</p> <p>まず、私から議事録署名人を指名させていただきます。今回の議事録署名人は、土屋秀雄委員と北田明夫委員にお願いしたいと思います。事務局で議事録を作成後、内容をご確認いただき、ご署名ください。それでは時間も大分過ぎておりますので、簡潔明瞭かつ速やかに会議を進めてまいりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>それでは、審議に入る前に事務局から地域振興基金運用計画（案）について概要説明をお願いします。</p> <p>お疲れ様です。企画政策課の竹宮でございます。先ほどはつたない説明をお聞きいただきましてありがとうございます。</p> <p>それでは、地域振興基金運用計画（案）についてご説明いたします。</p> <p>先ほどの各地区合同会にて、平成25年から平成26年度の間において事業実施を予定する地域振興基金活用事業のそれぞれについてご説明させていただきましたが、この会議では、松尾地区地域審議会としての意見を各事業ごとに意見書としてまとめていただく形になります。次第に添付した書式がその意見書になります。次第の3ページ目、4ページ目から各事業ごとに書式を付けてございます。ご覧いただければお分かりになるとと思いますが、その事業が適当であるか、または適当でないとの判断を頂きまして、その理由を理由欄にまとめていただくという形になります。</p> <p>例えば、適当でないという事でご判断いただいた事業の理由欄には、その要因について具体的に記入していただく、適当であると判断した場合においては、「地域振興に寄与する事業と認められる」等の理由が考えられると思います。</p> <p>また、活用事業として「適当である」の欄に丸印を付けたうえで、条件付きの実施といいますか、「実施内容についてより有効な方法を検討されたい」等の意見を付す事も可能でございます。</p> <p>なお、今回の計画書はあくまでも平成25年から平成26年度までの計画案となっております。つまり、ご意見を頂くのはこの2ヶ年度に関してという事になります。各担当部署からご説明をさせていただいた内容を踏まえ、まずは一つずつ各事業について皆様にご議論いただき、意見をまとめていただきたいと思います。その後、まとめた意見を事務局で内</p>

	<p>容を読みあげますので、皆様にご承認を頂き、意見書として作成し提出させていただきたいと思えます。意見のまとめ方としましては、適当でないという意見があればお伺いし、特に無ければ適当であるとしてその理由についてまとめるという形で進行するとスムーズかと思われまので、宜しくお願いいたします。</p> <p>補足ですが、皆様方のお手元の用紙は基本的にメモという形で書いていただいでかまいません。私の方でいただいた意見をまとめて担当に渡す形をとらせていただきます。その際には先ほどご説明した形でまとめた内容、審議結果等も含めて私の方で提出させていただくとする事で宜しいですか。</p>
<p>会長 事務局 会長</p>	<p>はい。</p> <p>ではよろしくお願いいたします。</p> <p>ただいま、事務局の説明が終わりました。</p>
	<p>今回ご提案を頂いている案件は、お配りした計画書案に記載されている①から⑥までの事業でございます。①から⑤までは継続事業でございます。昨年度の委員さん方にはこの賛否についてご審議を頂いております。</p> <p>先ほど各事務局から案件の概要について説明を頂いておりますが、総括的にではなく、私の方で①から⑥までご提案して1件ずつ進めたいと思えますので、ご意見があれば伺いたたいと思えます。そして各案件について、松尾地区地域審議会として適当であるか不適當であるかという意見をまとめて、市役所へ提出するという方向で進めたいと思えますので、宜しくお願いい申しあげます。</p>
	<p>まず、①のロードレース大会補助事業について提案いたしますので、ご意見があればお願いいたします。</p>
<p>古川委員 会長 古川委員</p>	<p>古川です。</p> <p>古川委員。</p> <p>結果としては適当であるに賛成なのですけれども、その内容として、山武郡市内に同じような主旨で行っているマラソン、ロードレースがあると思うのです。どこがやっているのですか。</p>
<p>会長 土屋委員</p>	<p>土屋委員。体育協会の委員ですよね。</p> <p>私は体育協会の役員で、ロードレース大会の実行委員にもなっております。基本的に継続をお願いしたいと思っております。今、古川さんから質問があった件ですが、横芝では駅伝大会をやっています。ロードレースはやっておりません。また、東金では恐らく八鶴湖の上の、片貝県道の方に池があり…。</p>
<p>古川委員 土屋委員 古川委員 土屋委員</p>	<p>どこでも同じような主旨でやっているのですか。</p> <p>山武郡内では山武市が規模的に一番大きいのではないですか。</p> <p>規模が大きい小さいではなくて、やっているところというのは、内容ですか。</p>

古川委員	いや、横芝も九十九里も、小さいながらも同じような主旨でやっているのか、そういうことを聞いているのですけど。
土屋委員	各市町村、みんなやっていますね。
古川委員	その理由は、内容を見させてもらおうと、参加者数が2千何人いるなかで、小中学生を除いた市内の一般参加者数は、第5回、第6回なんて、5、6%なのです。それに対してサポートする人が、体育協会関係者を含めて400人ほど出ているのですよね。
	費用はともかく、その主旨として、地域を他地域の人に知ってもらうというのが恐らく前提にあると思うのです。ランナーの人というのは、例えば富里スイカロードレース、同じような人がこっちも出よう、あっちも出ようと。ではそれが果たして…。
	でしたら、郡市民大会やっていますでしょ。もっと広く、どうせなら山武地域というのをもっと売ったほうがいい。そうすれば交代でもなんでもいいですから。九十九里だったら、波乗り道路を一宮まで、森田知事がアクアラインを閉鎖してやるような。もっとその九十九里沿岸というのを他地域に売り込むような努力をした方が良くと思います。
土屋委員	ああいった、例えば東京都内のマラソンやアクアラインのマラソンもありますけど、この辺では警察等に許可願を出しても、ほとんど道路許可が取れないのです。例えば、山武郡内で駅伝をやる時も…。
古川委員	いや、難しいとかではなくて、九十九里もやっている、他もやっているのだったら、山武郡市体育協会が、幅広く実施してはどうかと。要は人口増加と、そういったものを含めて実施すると思うのですけれども。
	それと関係ないのですけれども、東金に作っている病院だって、元は九十九里地域医療センターという名称でした。今の名称は東千葉メディカルセンター。山武、長生、夷隅といった医療圏の中に3次救急がないということであそこに作っているわけですよ。それが東千葉だなんて…。
	せっかく山武郡市で実施するのですから、そういった交流をもっと深めていただきたい。これも人寄せの一環だと思うのですけども。
土屋委員	地域のPRになるという。
古川委員	はい、山武市だけではなくてね。
会長	今の古川委員の意見、よろしいですか。
事務局	はい。書いています。
会長	その何か、広域的に参加者を、参加してもらおうという意味もあるのではないのかな。
古川委員	山武郡市がもっとイベントとして一致団結して。というのも、山武郡市体育協会という組織があるのだから。
土屋委員	そうですね。
会長	では、古川委員の意見はそういうことでよろしいですか。
事務局	分かりました。山武地域のPR、それから市外との交流も含めて、こ

古川委員 事務局 会長 大橋委員	<p>のイベントを市の中で一致団結して盛り上げてもらうということを条件に。</p> <p>いや、山武市だなんて、そんな狭くではなく。</p> <p>はい、山武市だけではなく、山武郡市として。</p> <p>では大橋委員。</p> <p>関連でちょっと一言だけ。私が成東にいた時は、まだ当時はあまり駅伝大会が盛んな時ではなかったのです。資料を見ていましたら、第5回さんむロードレース申込者数のうち、市内の60歳以上は5名であると。だから地元の間がどれほど関わっているかということと同時に、森田知事がアクアラインを止めてやる、あのような規模のロードレースとの取り組み方の違いとか、そういったものをもう一度吟味していただいたらどうかと思います。東京都青梅市の青梅マラソンは、1万数千人という参加者がいる時代です。せっかくやるのだったら、知名度をどう上げるのかという検討と同時に、古川委員がおっしゃっていたように、同じような催しをやるのだったら近隣と手を握ろうと。八日市場の方でも駅伝大会とか色々やっていますよね。そういったところと連携して、もっと地元の人が喜んで参加するような、競い合うような、そういう運営の仕組みを構築していくことを、是非、私は考えて欲しいと思っています。私も微力ですが、そういった点では何かお手伝いすることがあれば参加したいと思っています。</p>
土屋委員	<p>他にない工夫を凝らしコースを色々提案したのです。山武郡市の駅伝ですが、そのコースは、警察の交通課に自分らが土地と関係があって、ああいいですよということですのですぐ許可していただきました。山武市で別の大会、それは旧山武町地域で1月にやるのですけれども、交通課に行ったら、交通量が激しいところはちょっと遠慮してくれないかという話がすぐ出てくるのですよ。それは危険防止なのですけれども、防犯協会の会長さんに話に行ったら、一応、警備員を補充してもらえればいいですよという話の中で、今回同じような形でやらせてもらう予定です。道路使用許可という…。</p>
古川委員 土屋委員 大橋委員	<p>だからそういうふうに…。</p> <p>いずれ会議でそういう話も…。</p> <p>だから、やはり良いところをもう一度掘り出すということ、是非皆で考えていったらいいかなと、そう思いますね。</p>
会長	<p>はい、わかりました。今日は、土屋委員が体育協会の委員だから、当事者になっていますけど、事業の審査ですので…。</p>
押尾委員	<p>では、はい、押尾委員。</p> <p>今お話がありましたけど、場所は蓮沼地域で開催して、近くの自治体を抱え込むというか、参加者を増やしてもらうということであれば、九十九里一帯の宣伝になると思います。それと、もっとPRする必要がありますね。申込者数の都道府県別内訳を上位から見ると、やはり埼玉</p>

県、神奈川県、東京都と首都圏が多いので。ですから、そういう人たちは可能性としてはかなりあると思います。その辺のPRということと、やはり山武市を知らない人達が結構いるのですよね。その人達がせっかく来ているのですから、観光協会がもっと…。先ほど会議で出ましたけど、要するに苺狩り、味覚狩りの情報やグルメマップを袋に入れて手渡したりすれば良いと思います。私もこういう大会に色々出ましたけど、行くと色々パンフレット入っているのですよ。それを車の中で開けて見たり、家に帰って見たりするではないですか。そうすると、ああ苺狩りをやっているのだとか、グルメマップがあれば、ここへ行ってみようとか。せっかくの宣伝機会がもったいないなと思ひまして。そのあたりをご検討いただけたらと思います。

会長
土屋委員

はい。

押尾委員がおっしゃった観光協会の件については、一応今回もパンフレットを作った後にそのような話が出たのですよ。私どもの中では、観光協会又は成田国際空港株式会社に協力団体という形で対応をお願いしようという話が出ていますので、次回のさんむロードレース大会のメンバーで話をすることになるかと思ひます。後もう一つ、成東地区地域審議会委員の小山委員がご提案されているのですが、富里にスイカロードレース大会というものがあり、そこへ私どももパンフレットを配りに行くのですが、山武市は苺の産地として有名なので、苺ロードレース大会を開催してはどうだろうかというご提案を頂いているのです。苺は、時期としては11月くらいから始まって終わりは4月、5月くらいになるのですが、その最後の時期、5月の連休に開催してはいかがかと。私どもとしては3月頃、早い時期にやってもらいたいと話したのですが、その頃はPRしなくても人が来るというのですよ。だから5月頃に、無料で提供させていただくので、やってくれないかということなのです。体育協会側としては、5月は時期的に無理かなと。結論は出てないのですが、そういう話があります。

会長
野中委員

はい、野中委員。

野中です。今、スポーツの話で土屋委員が話していただきましたが、私は旧4町村が合併したこの山武市の中で、小学生や中学生を強い選手に育てていけば、内外からたくさん強い選手が参加してくれると考えています。やはり足の速い、強い選手がいることで皆来るわけです。市内の高等学校にも良い選手がいますよね。山武郡の大会とするためには、選手選考ではないけど、山武市として強い選手を育成する。そうすると親たちも観戦しに来るし、市としても、そういう意見を盛り上げながらやる必要があると思うのです。昔は土気駅の方から出発してずっと海岸に寄って金毘羅様から上がってくる、そういう大会もあったけれども、先ほど土屋委員がおっしゃったとおり、今は全て交通規制がかけられていて、なかなか警察の許可がおりない。そうするとコースの選択肢

会長	<p>が狭まってきて、例えば小学校では坂田池の回周で大会をやっている訳です。そういう意味で、やはり山武市として小中学生の育成問題という事を考えながら、それによって親たちも一緒に楽しんで走るという事になると思うのですね。そういう意味では、体育協会で選手を選考するようしてもいいのではないかと考えます。以上です。</p>
古川委員 会長 古川委員	<p>はい、わかりました。</p> <p>皆様のご意見を聞くと、この件については、せっかくやるのだからもう少し盛り上がる大会にした方が良さだろうと、そういうことだと思います。この件について賛否をとってよろしいでしょうか。他に意見ございますか。</p> <p>簡単によろしいですか。</p> <p>はい。</p>
会長 古川委員 土屋委員	<p>今、野中委員がおっしゃった話と内容が一緒なのですが、松尾中学校とか、蓮沼小中学校の生徒は結構参加するのですが、成東や山武地域の学校はほとんど参加者がいないのですよ。学校でも一応案内は出しているらしいのですが、やはり小さい時に親と参加した、中学校で参加した、そういった思い出が大人になって、自分の子どもとまた参加しようと。そういう繰り返し、長い年月をかけての深い歴史を持って初めて、長く続く行事になると思うのですよ。ですから、参加した人が嫁に行けば、嫁に行った先の孫と一緒にまた参加してください。これは5年10年20年とかかるのでしょうけども、そういった事を踏まえて、各市内の学校ですか、なるべく子どもたちが参加するような、そういう提案を教育委員会にしてもらいたいですよ。昔食べたお菓子が今流行っているというのはそういうこと。</p> <p>大会表を見ると、小学校から一般まであるわけですよ。</p> <p>どちらかといえば一般が主体でしょう、これ。</p> <p>今回、地域振興基金を入れさせてもらって、子どもたちにいくらか補助したのですよ。第1回目と第2回目は本当に参加者が少なかったのです。そのため、子ども達に参加していただけるよう、一応無料にさせていただきました。そうしたらいくらか良かったです。それからあとは、先生が率先して連れて来てくれないのですよ。やはり責任問題だとか色々ありますので。どうしても親御さんに頼んで、パンフレットを各家庭へ子どもたちが持ち帰っていると思うのですよ。親御さんに乗せて来てもらう。そういった環境があれば良いのですけれども。学校側で体育主任の先生が、ではみんなで参加しようと、学校が揃って参加してくれたら良いのですけれども、なかなか体育主任の先生も声をかけられないですよ。そういうところもちょっと問題があると思います。</p>
古川委員 土屋委員 古川委員	<p>でも土屋委員、市内参加が400何人いる中で、7割が小中学校ですよ。</p> <p>そうですね。</p> <p>一般参加者は人数にして120人から130人なのですよ。私もゴルフに行</p>

会長	<p>きますが、年に1回、費用が1万5千円程かかります。これに加えて普段の練習に費用がかかって、まあこれは付き合いの意味もあるのですが。ただ、それでも市内の大会に150人から160人が来るのですよ。さんむロードレース大会はこれだけのサポート体制と400人ものスタッフがいるにも関わらず、市内の一般参加者数が100人弱では、もう少しやりようがあるのではないかと。</p> <p>この問題だけで議論はできないので、土屋委員も今日は体育協会の委員ですから。一応、どうでしょうか、せっかくやるのだったら、盛り上がる大会になると良いというのが一つの要望だと思いますので、それは事務局にまとめて出してもらおうと。それで、一応継続事業でございますので、賛成するというところでよろしいですか？</p>
会長	<p>(会場より「はい」の声、拍手あり)</p> <p>では、ロードレース大会補助事業に賛成ということにさせていただきます。</p>
大橋委員	<p>すみません、会長。全体会議で発言したら、ここで発言してほしいと言われたので。この将来都市像の、独立都市さんむという独立都市とはどういう意味なのか教えてください。</p>
会長	<p>それは最後にしましょう。今日はこれがメインだから。</p> <p>それでは、②の体験音楽祭「山のおんぶ」実行委員会補助事業、これも継続事業でございますけれども、これはいかがでございますか。</p>
押尾委員	<p>はい、押尾委員。</p> <p>松尾地区の話題になりますが、神楽の後継者がいないという話が出たので、地元の伝統芸能もあっても良いのではないかとということと、あとはその辺に絡めて生涯学習ということで、若者は良いのですが、どちらかというとな寄り対策が良いと思います。また遊びの方でも、伝統的な遊びをやってみたら良いというのが私の提案です。それと、チラシなのですが、凄く見辛いですよね。字が小さくて。地図も書いてあるのですが、これも見辛い。</p> <p>あと、参加人員がアバウトというのがありまして、どこから誰が来ているのか分からないため、アンケート調査をやったらどうかというのが意見です。以上です。</p>
会長	<p>はい。今の質問に答弁ございますか。</p>
事務局	<p>いえ。進めてください。</p>
会長	<p>これは開催地がさんぶの森公園ですから、旧山武地区が主体になっているのでしょうかけれども、事業を実施するならもう少し創意工夫が必要ではないかなというのが原点でしょう。</p>
押尾委員	<p>もう一つよろしいでしょうか。</p>
会長	<p>はい。</p>
押尾委員	<p>サマーカーニバルでは山武市の送迎バスが出ますよね。今回の場合は送迎バスを出すのかどうか分からないのですが、市民参加ということ</p>

<p>会長 押尾委員</p>	<p>であれば、日向方面から送迎バスを出すような話ですよ。せっかく出すのであれば、3、4地区から出されたらどうかなと。値段も14万7千円でしょう。そんなに高くもないし。</p>
<p>会長 小槲委員 古川委員 会長</p>	<p>開催場所にですか？</p> <p>開催場所の蓮沼海浜公園へ4ヶ所から送迎をするではないですか。開始予定時刻から終了後30分後まで1時間間隔で送迎するという感じで、それは14万7千円という費用ですよ。高過ぎるわけでもないし、せっかくなら。</p> <p>はい。その他ございますか。</p> <p>特別ないです。</p> <p>全て賛成であると、適当であると思います。</p> <p>それでは、一応これはPRの方法もあるだろうし、旧山武町地域にこだわっている部分もあるのかもしれませんが、もう少し創意工夫をしてというご意見を付帯事項として付けて、賛成ということよろしいですか？</p>
<p>会長 小槲委員 会長 小槲委員</p>	<p>(会場より「はい」の声あり)</p> <p>次に、サマーカーニバル実行委員会補助事業ということで③の提案をいたしますけれども、ご意見はございますか。</p> <p>はい、小槲です。</p> <p>どうぞ、小槲委員。</p> <p>私は山武市商工会の役員でして、市と山武市商工会の協賛ということで、私もここ3年間、運営に関係しています。花火については、普通1,000発以上だと1,000万円必要なのですよ。なのでサマーカーニバルについては、かなり節制しています。例えば、去年は砂浜で上げる花火はなるべく高く上がるものにしようということで、当初は杉よりも上に上がる程度の花火を加えていたのですが、それをやめて、ある程度の高さの上がるものを揃え、前回と違った内容で実施したところ、それでも推定で1万5、6千人の参加者がありました。それは会場に来ている人数であって、後で聞いたら天候が良かったので近隣町村でも大分反響が大きかったという話です。先ほどの全体会で、花火1,200発に対して400万の予算で足りませんとおっしゃっていましたが、内情としてはかなり節制しています。防犯協会や安全協会も、本当に弁当代程度で奉仕してくださっています。それと、先ほど押尾委員がおっしゃった送迎バスの件もありますが、今日の話で旧山武町付近の方はあまり関心がないというか、広報活動というのですか、そういうビラ配りもあまりやらなかったことは事実です。また、一番困る事は警備体制であると聞いています。こういう場所に警察官がいてほしいとか、要するに来場者が帰りの際に警察官がいるのといないとではかなり違うような、そういう問題は後々提起されましたが、まだまだ色々検討の余地はありますね。だから出来れば、来年もひとつ継続でお願いしたいと言うのが私の考えです。</p>

会長	小椰委員、この花火というのは、昨年度の680発から今年度1,200発に増やしたと。
小椰委員	そうですね。はい。
会長	その花火は高く上がるのですか。それと低く上がるのですか。
小椰委員	今年は低く上がるものを主に揃えました。
会長	花火ってサマーカーニバルのメインになるのですかね。お金が一番かかっているようですけど。
小椰委員	そうですね。やはり今年は飯岡など震災の関係で中止にする地域が多かった中で、逆に実施したことで結果的に皆様に喜んでいただいたと。
古川委員	やはり花火がメインですよ。
小椰委員	メインですね。
大橋委員	朝の6時頃に、2発程打ち上げたのですよね。それから最後の夜9時ごろに高い花火が上がっているのを見ました。ただやっていること自体が我々のところに伝わってこない部分が。申し訳ないのですけどね。
古川委員	大変でしょうけれども、もっと関係者の人に頑張ってもらって。
小椰委員	横芝光町では、基金の1億円を使ってやっていたわけですから。ところが山武市の場合には、元々運用益と一般財源からの補助金ですからね、ただボンボン上げればというか、いかに地域の皆様に楽しんでいただくかというのが、一般的な元々の考えですからね。
古川委員	それと、千葉県レクリエーション都市開発株式会社があるではないですか。山武市も出資しているのだから、蓮沼海浜公園をその時にある程度割安料金で開園するとか、協力体制を市から求めるとかね。
土屋委員	それいいですね。
古川委員	九十九里地域であれだけの設備があるところはここしかないのだから。
土屋委員	せめて半額にすればね。
小椰委員	土屋委員、いかがですか。警備の関係で何かありますか。
土屋委員	駐車場ですよ。
小椰委員	駐車場ですね。
会長	これを言うと色々、花火だけではなく付随することもやっているようですから。
小椰委員	そうですね。米粉だとか、それも山武市商工会の方で。
会長	それだけの観光効果とか、PR効果にはなるのではないかと思いますけどね。では、③のサマーカーニバル実行委員会補助事業については、一応、継続ということで。 (会場より「はい。」の声あり)
会長	はい。ありがとうございました。それでは④の医学生奨学金等貸付事業、これも継続事業でございます。かなり難しい事業ですけども、それだけ今後の地域医療に役立つのでしょ。この継続事業についてご提

古川委員	案はございますか。
事務局	これ何年ぐらい続けるのでしょうか。ずっと続けるつもりですかね。だって、1年に一人200万円でしょ。
事務局	よろしいでしょうか。今、私どもの方で、行政評価の一環として事務事業評価という事をやっております。各事業の事業内容であるとか、あるいはその効果であるとかを、全部見直しています。その中に、どのくらいの期間を目安に事業を行うのかという、計画年度という項目があります。そして今現在、この事業の計画年度としては、平成23年から行うという事のみで終期は決めていない状況なのです。今の状況だと、お医者様に帰ってきていただいて、できるだけ充実した医療体制にしたいということがあります。ですから計画年度の終期を定めていないという状況でございます。
古川委員	申請件数によって変わってくるからね。
事務局	そうですね、おっしゃるとおりでございます。
会長	押尾委員どうぞ。
押尾委員	医学部を大学受験する高校生は結構いらっしゃると思いますが、山武市に5年以上住所を有していたことがある、という応募資格の制限がありますよね。山武市内に5年以上住んでいる高校生で医学部を目指しており、かつ優秀な人材が一体何人いるかと考えたら、結構少なくなってきましたよね。だから制限の緩和、極端に言うと住所制限を無くすと。とにかく山武市で働いてくださいと。奨学金を受けた分は働いてくださいとすれば、もう少し申請する人数が増えるのではないかと思うのですね。少子高齢化も考慮して、これはもう少し範囲を広めて実施した方が、人材交流もできると思います。
古川委員	あまり対象を広げてしまうと財源の問題があるのですよ。
押尾委員	いや、財源の問題は、ある程度何名までという、極端に言えば人数制限をする。もし財源がなければ。それで幅を広げるということで。
会長	全国的に医師不足、県内も医師不足、特に田舎はなお医師が不足している。だから医者を育てるという意味では、押尾さんがおっしゃったように、山武市にこだわらずに募集するという考え方もあるのでしょうか。今は山武市の人になっているのですか。
事務局	そうです。
古川委員	2人と言いましたね。
事務局	はい。
小槲委員	その医学生は何を専攻しているのですか。例えば外科だとか、色々ありますよね。
事務局	まだ始まったばかりですから、専攻というのは…
小槲委員	途中から専攻が変わるのですか。
古川委員	最初からは決まっていないでしょう。
会長	ただ、この山武市として縛りづけるのが良いかどうかというのは、な

野中委員	<p>かなか難しいところです。東京大学の医学部とか慶應義塾大学の医学部だとか、そういう大学の人があるかといえば、なかなかそれは難しいところがあるかもしれない。千葉大学であっても。</p> <p>聞きたいのですが、東金市は看護学生に対する奨学金貸付事業を実施していますが、医学生を対象とした貸付事業はやっていないのですか。</p>
古川委員 野中委員	<p>実施していますよ。</p> <p>やっているよね。どこも同じようにやっていますが、東金市は看護学生に対する貸付金額が10万円ですよ。また、医学部に入学してから医者になるまで6年ですよ。その辺、ここでもっとやれって言ったって、人数増やしたって、本当に無理。さんむ医療センターについては、私はむしろ東金市が大きくなって、救急医療もどんどん増えるようになれば良いなと思うけれども。だけどこれから先どうなるか分からないしね。だからとりあえずは、当面2名、山武市の中からお医者さんを輩出して、さんむ医療センターに来てくれれば良いなと、少なくとも思っております。いずれにせよ、他の市町村も看護学生に手厚い奨学金を与えているように、どこの市町村もそうだなと思ったものですから。</p>
古川委員	<p>だって現に、北総病院だって毎日来てくれる医者は皆若い人ですよ。本当の教授はめったに来ないのだから。家族が来ないもの。子どもだって都内だから、単身赴任というわけにはね。</p>
会長 野中委員	<p>はい、どうぞ。</p> <p>さんむ医療センターの各診療科は、科に応じて月水金とか週2日しか大学から来ない。行ってみると分かりますよ。眼科、耳鼻咽喉科、さんむ医療センターは整形が一番混んでいる。産婦人科も始めたけれども、やはりどの科でも医者が十分に来てくれればと私も思います。</p>
会長	<p>地域振興資金の制度ができて3年目、これはとりあえず山武市でやってみようということで始めた事業です。もし山武市で集まらなかったら、あるいはそういうことができなかつたら、もっと地域を広げること考えられると。地域医療に役立つということで、制度そのものは良いのではないかと思いますが、募集対象地域が山武市だけになっているから、将来的に考えると…。</p>
古川委員	<p>さんむ医療センターは独立行政法人ということで、市はあくまでもサポートですからね。</p>
野中委員 会長	<p>そうだね。完璧にやろうとしたら財源が…。</p> <p>話が逸れますけど、医療や介護というのは今難しいもので、例えば田越だとか色んなところに介護施設がありますが、満員で入りたいのに入れないでしょう。看護師や介護士が不足している状況にあるわけですよ。高齢化の影響もあって。医者だけは以前から不足しているという話を聞いていますけどね。</p>
古川委員	<p>やはり全体として、よそから若い人を呼ぶという、主旨はそうでしょ</p>

会長	<p>うよ。</p> <p>さんむ医療センターの前身は関係市町村が作った組合立の国保成東病院ですよ。その後医療機関がだんだんこうなってきた、やはり官公庁では病院を維持できないということで、第3セクターに移管したわけですけれども、その後どういう状況になっているかはよく分かりませんが、医師不足には間違いないだろうと。</p>
古川委員	<p>ただ先ほども言ったように、以前は救急が印旛北総山武医療地域だったわけですが、東金病院を作るために山武を切り離して山武長生夷隅としたわけでしょう。で、あそこ作ったと。そして現在やっているのは東金と九十九里ではないですか。県が補助金出して作ったのは良いけど、あれ維持管理と救急を考えたら大金がかかるのでは。</p>
会長	<p>私も良くわかりませんが、要するに厚生省かどこかで、医者の移動か何かを自由にしたのだよね。それで皆良いところ、給料が高いところへ集まるようになってしまった。そして、田舎の医者というのは待遇も良くないし、勤務条件も良くないから、皆他の良いところへ行ってしまったわけですよ。それでも根本的に医者が足りなくなってしまったわけです。</p>
古川委員	<p>さんむ医療センターの医者に残れと頼んだ場合に、では東京の良い病院と対抗できるのかというのは話しましたが。奥田さんだってそうでしょう、自分の子どもを良い大学に入れて何にしたいかといったら、山武市には来ないでしょう。買い物だって何だって、生活に困らなければ向こうにいるでしょうよ。</p>
会長	<p>色々ご意見はあるでしょうけれども、一つの医療制度を支援するという形の事業ですから、これも継続事業でよろしいでしょうか。 (会場より「はい。」の声あり) では宜しく申し上げます。</p>
押尾委員	<p>それでは次、市民提案型交流のまちづくり推進事業ということで、ご提案を申し上げます。これも何か幅広い事業で、市の担当者も電卓をはじいて計算したりしていましたけど。事業としては非常に幅広いことをやっているというような印象を受けるわけです。これについてご意見を伺いたいと思います。はい、押尾委員。</p> <p>はい。私、先ほども少しお話したのですけれども、計算違いとか、そういうのを見つけました。最初の実績に関して、例えば補助金が50万円出て、事業実績がこうですよという資料があるのですが、この事業実績に関して丸い数字が出てくるのが少し不思議だなということと、補助金が例えば30万円出たら、事業実績も30万円と、その辺がどうなっているのかということと、補助金を出す市が、補助金を受ける側の会計内容をきちんとチェックしているのかなど、少し疑問に思いました。</p>
古川委員 事務局	<p>この中から委員に出ている人がいるのではないですか。 リストがないからわかりませんが、何人かいらっしやると思い</p>

古川委員 事務局 押尾委員 会長 押尾委員	<p>ます。</p> <p>審議委員ですか。</p> <p>審議委員の方ですよ。今、リストがなくてわかりません。</p> <p>もう一つ良いですか。押尾です。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>特定の地区だけでやっている団体もあるのですが、全体的にやっている団体もあるのです。ただ一か所だけやっていると、そこだけが目立つというか。そうすると旧松尾町の人なかなかそこに行き辛いという部分があるかなと思うのです。だから山武の例えば山里をきれいにしようということであっても、一部ではなくて、どうせやるのだったら全体的に移動して行ってやるというのが必要じゃないかなと。</p>
会長	<p>これを見ますと、やはりボランティアの事業が結構多いですよ。当然山武市ですから、場所の選定も山武市全体に広がるようにやってもらうのが一番望ましいのでしょうけど。</p>
押尾委員	<p>そうですね。ステップアップ部門では、他の組織と連携してやりなさいというのですが、その連携というのがどの程度の連携を指しているのかということについて、クエスチョンマークな部分があるのですよ。だからそういう意味合いで、同じ山武市に住むのであれば、山武市の4ヶ所でやりますよといった場合に、色んな地区を移動してくれば、それなりに人が集まってくるのではないかな。そして来た人は、ではまた参加しようという事になり、各地区の交流が生まれるという。</p>
会長	<p>その事業の進み具合で、まちづくり・交流ができるような形も面白いと。</p>
押尾委員 古川委員	<p>どうせやるなら。</p> <p>会長、審査の会議に会長が出られているということでお尋ねしたいのですけれども。平成24年度事業の事業実施団体ということで、6番目の「さんぶの森元気館でコミュニティレストランの運営事業」ということで、その事業概要が「地域の施設や人的資源を活用し、同時に、新たな地域のコミュニティの場を生むため、さんぶの森元気館の厨房を活用し、ワンディシェフシステムでレストランを運営、広くシェフを募集して人材の発掘と育成を図る。」と記載されています。何故この事業に補助金が出ているのですか。</p>
小槲委員	<p>良いですか？これは私が聞いているところでは、何かイベントを計画し、それをやった場合の相乗効果がどの程度ある、というような計画書を市民自治支援課に提出し、ヒアリングで具体的に説明して審査を通過すれば、30万円を限度とした補助金が出るのですよ。山武市商工会でも一部、桜巡りハイキングというイベントを3月にやっていますが、あれも予算50万円ですか。それで地元の旧山武町の二つのお寺さんの花見、しだれ桜を、ということですね。だから、その地域地域で、では皆様何かやりましょうと提案すると、それがボランティアではなくても、</p>

古川委員	<p>予算をある程度補助しますよ、というふうに私はお伺いしていますけど。だからこの地域の、今、古川委員が言ったような、これは何名か私の知っている人達が集まって、食堂みたいなのをやっているのですよ。</p> <p>だから、そこを借りているのですよ。あそこの施設の厨房を借りられるのではないですかね。</p>
小槲委員	<p>この辺の個々の内容は精査する必要があると思いますよね。やることは良いのだけど、地域の相乗効果というのが、どの程度あるかということまで、当然計画書には出してあるわけですからね。</p>
古川委員	<p>そういうことですよ。</p>
小槲委員	<p>実績ですよ。お金を出すのは税金だから、受け取る人は市民の一部でしょ。やっぱりそれなりの実績を上げて貰わないといけないし、会社ではないですけど決算書、やはりそれを見て、数字的には、これは妥当であるというふうにやらないと。例えば、30万円事業費をもらいました、30万円全部使いました、これでは30万円使って本当にやったのか、という疑問というものがあるわけですよ。それがやっぱりきちんとしてやらなければいけないと思いますね。</p>
小槲委員	<p>だから我々は山武市商工会でやっている桜巡りハイキングも、アンケート用紙に番号振って、皆様にアンケートを一応出してもらって、それをする事によって参加人員、事前に参加する人の予約を受けていますけれども、やっぱり…。</p>
古川委員	<p>ではそういうふうに、公の人のためになるのなら良いけど、一部の特定の人商売、商いをするのに、市で補てんしてくれる…。</p>
会長	<p>小槲さんがやったのはこの事業なの？</p>
小槲委員	<p>いや、私は農商工・観光課の方と、山武市商工会と共同でやっている、やっぱり一口50万円とか、その予算の中でね。だからその参加人員が、去年はこれだけだけど今年はこれだけありましたよと、数えるわけにいきませんから、成東で降りる方、日向駅で降りる方、そこまで車で来る方もいますから。</p>
会長	<p>何かあれだよ、これ市民自治支援課か何かで、この事業の選択だとか、決定事項の委員会があるのだよね？市民自治支援課で。</p>
古川委員	<p>違う話だけど、防災無線ではなくて、この間も広報に出ていたでしょう。ほら、ラジオのFMを使って。緊急時にFMだなんてどうなんですか。</p>
会長	<p>今のは意見交換ね。</p>
押尾委員	<p>ちょっといいですか、古川委員。FM局を作ることは良いと思うのですよ。地域の放送局ね。あれはおそらく株式会社になると思うので、出資者がいますよね。上手に利用していけばコミュニティの連携にもなるし、例えばさっきのロードレース大会にしる、サマーカーニバルにしる、広報に役立つと思いますよ。</p>
古川委員	<p>だから会社が勝手にやっているなら良いのですよ。内容が防災でしょう。</p>

小榑委員	行政が絡むか絡まないかは、今まだ試験的で、実際の電波は20ワットらしいのですよ。ところが、山武元気森のところに鉄塔のアンテナを立てたら、区域外の八街の方が高いからバンバン入ったらしいのですよ。ところが、総務省はそれはやったらダメだと言うのです。地域だけのFMなのだからと。
古川委員	それで防災って、津波が来てき、あんなもの聞く間もなく、もう様子がおかしいよって皆吹っ飛んで逃げますよ。
小榑委員	だからそれはやってみないと、彼らが言うには、そういうものにはかなりの相乗効果、こういうのがありますよと。防災無線とは違った意味で、ラジオの電波で聞けるのだというのが、触れ込みなのですけど。北海道では立ち上げに約7000万円必要だったそうですよ。
押尾委員	ラジオの地方局っていうのは今、結構あるのですよね。だからやはりそれをうまく活用する。そうすれば若い人が、山武FMに入局しよう。アナウンサーになろうよという人たちも出てくる可能性もあると思うのですよね。雇用の部分も出てくるし、やはり山武地域に車で走ってきたときに、周波数を合わせるかどうかわからないですけど、聞いている人が、ああこういうことやっているんだ、と広報にもなるから、私は山武FMというのは良いと思いますね。
小榑委員	だから、相当のボランティアがいないと、地域の情報っていうのは上がってこない。で、まともに給料払うようにしたら月に400万円かかったそうですよ。だから会社組織を立ち上げた場合でも、良いスポンサーがいないと、なかなか維持管理が大変ではないかと。
押尾委員	そうです。だから私の関わった、というわけではありませんが、富津市のFM局は、取引先に無理やり広告をね。出入りしてる米屋とかね、協力しなければいけないなという感じで、そういうところに無理やり出している。
野中委員	話が戻るけど、さんぶの森元気館は官から民へということで委託しているのね。大きな会社が受託して、厨房なんかはやってなかったと思うけど、その空いている、もと厨房なんかあったところを、ボランティアというか、ボランティア的な人たちに委託して、それを運営している。 ひょっとしたら、私の推定だけど、このレストランを運営しながら、シェフとして人材育成している事業ではないかなと推定されるわけです。
古川委員	2人しかいないですよ。
野中委員	そういう人たちを呼んで。
古川委員	よそから呼んでいるのだろうよ。
野中委員	だからあとは、そこに携わっているその集めた人たちでやっているのではない？違う？
古川委員	いや、だってお客なんていないもの。
野中委員	あそこでお蕎麦をずっとやっていたのよ。来る人たちにお蕎麦やそう

	<p>いう簡単な。そういうものだけでは、なかなか食堂を利用する人が…。</p> <p>ただ、そういう事業をやって、同時に一般の人に利用してもらって、そういう事業じゃないのかなと推定されるわけ。</p>
古川委員	<p>いや、名目はそうなのですけど。これは個人でしょうよ、個人の事業でしょうよ。</p>
野中委員	<p>だからそれよりも、あそこは個人かもしれないけど、さんぶの森元気館そのものは市で委託してやっているの、軌道に乗せるためには、市の方で安く提供を…。</p>
会長	<p>色々ご意見はあるようです。個々の事業をみるとなかなかどうだいという内容もあるかもしれませんが、地域の人が集まって、色々な仕事をしていくというの、ボランティアとか一つのサークルを広げるという意味でも、良いのではないかというような考えをして、継続ということにしたのですけど、いかがでしょうか。</p>
押尾委員	<p>内容のことは、今言われたように精査して、せつかく税金を出すのだから、内容をきちんと監督と言うか、それをやってほしいですね。私ちょっと、これミスプリントだと思うのですが、3番の百姓谷津田の会の実施場所がさんむ医療センター内となっているのですが、これ何でさんむ医療センターで谷津田の再生事業？</p>
会長	<p>もちろんそれは、これも地域振興基金の運用益を充当するというような形でこの制度が出来たわけですが、もちろん税金を使うわけですから、無駄に使うということではなくて、やっぱりそういう効果が上がるものに使ってもらおうということが前提条件になるのでしょうかね、実際問題。</p>
小柳委員	<p>監査というのはどのような形でやっているのですか？内容については。</p>
古川委員	<p>その委員はだつて、市民自治支援課の課長と、奥田会長が出ているの？この会議。審査会議に出ている？</p>
小柳委員	<p>地域審議委員の会長が兼務しているわけでしょ？</p>
会長	<p>これ？いやこれは継続事業だから、松尾の地域審議会として、どうですかということに諮ってくれということになっているわけですよ。</p>
古川委員	<p>だからね、押尾委員が聞いたように、この百姓谷津田の会の会議が医療センター内でやっているけど、これどういう意味ですか？今質問ありましたけど。</p>
事務局	<p>担当者に確認しないと、ここの部分に関してはわからないので…。</p>
古川委員	<p>だつて会議に出て審査しているのだから…。</p>
事務局	<p>ですから、ひょっとしたら、その時しっかりしたものが出ていて、この書類だけがちょっと、ミスプリントかもしれないというところもあるかもしれません、あるいはですね。</p>
会長	<p>だから、この個々の内容については、</p>
古川委員	<p>いや個々の内容を審査するのはその代表がやるというわけでしょ？だ</p>

	から当然わかっていなければしょうがないでしょう。奥田会長、答えてくださいよ。
会長	今回提案したものについては、平成24年度分の事業計画がこう出ているわけですよ。
古川委員	それは分かるのですよ。それは分かるのだけでも、それは良いですよ、皆一生懸命ボランティアでやっているのは良いのだけれども、個々のやつが、ちょっとおかしいのではないかってね。
会長	だからそれはさっき私が言ったように、個々の事業を検討した結果これ全体を駄目にするのかと。
古川委員	いや、それは、その会議に出ている人なら全部知っているから、ちょっと答えてくれる？
会長	だからそれは、もしその個々のものだったら、市民自治支援課の方で…。
古川委員	あ、審査委員ではないのか。
秋葉委員	前に、地域審議会の委員を改選した際の会合で、何かやると言われましたよね。会長、副会長を決めるときに。その話がそうですかね。
会長	かもしれない。
古川委員	そうだよ、前は鈴木超委員がやっていたのだよ。
会長	私は出ていないですよ。
古川委員	では奥田会長ではないのだね。言ってくれば良いではないか。
小槲委員	説明では会長が云々だって…。
古川委員	違う違う。
小槲委員	違うのかい。
事務局	ではこちらの方は確認しておきますので。申し訳ございません。
大橋委員	ちょっと、一言、会長。
会長	はいどうぞ。
大橋委員	私ね、初めてということで、色んな補助金やなにか見えていますと、例えば早船の里山保存会だとか、同じ地域で団体は違えど、例えば金尾で川さらいして綺麗にしていた団体、そういう助成金がなくてもやっている団体がいっぱいあるのですよ。
秋葉委員	いくらでもありますよ。
大橋委員	そういったところには…。
古川委員	いや大橋さん、そういうのはそれ以前の問題で、そういうのもあれば、こういうふうに申請書をちゃんと、項目があるからそれに書いて市民自治支援課に出すのですよ。それで審査員が、では補助金を出したらまた妥当か妥当ではないかと。
小槲委員	その川に、メダカがいっぱい泳いでいますとか、そういうのがあれば。
大橋委員	ちょっと待ってください。それで、あくまで団体ですよ。私は別に、金くれとは言いません。小堀氏は事務局員だから知っていると思う

野中委員 大橋委員	<p>けど、私はね、片道2000mの谷津田をただで草刈り、一人でやっていますよ。見てもらえば分かるけどね。これはあくまでも、いわゆるボランティア。</p> <p>だからそういうのをね…。</p> <p>よくやっているって褒められるのでも何でもない。うちへ来てみなさい。ゲンジボタルがもう500匹も来ますよ。あの水流して、カワニナの餌を作るために。本当にボランティアで、私個人でやっている。では早船に蛍が飛んでいるかってね。そういうことで、言いたいことがたくさんあるのですよ。私は別に、自分が好きでというか、人に褒められるからやろうっていうのではなくて、小川の、見てみなさい、麻生新田から金尾の向こうから来る道路のところまで、みんな。共同作業でやらなかったら、私が一人で、あの道30m以上のところやるのですよ。そういう人間がいるのだということと同時に、早船みたいに二つも三つも同じような名前でもって、助成金貰っているというのは、これはいかがなものかというのは、個人的には思う。</p>
会長	<p>それと、ちょっとすみませんが、話題が変わりますが。この前の会議で周東委員がおっしゃっていた、いわゆる学校の問題とか、色んな問題があって、会長にちょっと、どんなふうに考えているのか、ちょっと伺いたいのですが。松尾と蓮沼地域の、何か、非公式でも良いから、話がまとまらないかという感じがあるのですよね。やっぱりこの直線を考えないと、どうにもうまくいかないのではないかと。さっきの花火の問題でも何でも、あれは蓮沼の方の人間が好きでやっているのだよと、そういう言い方をしている人もいるわけですからね、これ。皆がそうではないのですよ。あれは、蓮沼の連中が好きでやっているのだよって、そういう言い方を、やっぱり我々、同じ近場にいる同士の言っている人がいるのですよね。そういうことではなくて、やっぱり、もう、松尾、大平、蓮沼っていうのは、やっぱり一体となってやる…。</p>
押尾委員 会長	<p>わかりました。大橋さんと押尾さんは委員会初めてだから、流れがちょっとわからないところがあるかもしれませんが、今日はそういう話はちょっと、置いといてください。今日はこのことだけ。時間ありませんから。それまた後で、今の話もさせてもらいたいと思いますけど。</p> <p>では一応、私の方で付帯事項として、要するにこの事業については、個々の内容そのものについて、よく検討して、それぞれを実施してもらいたいという付帯事項を付けて、一応了解をしていただけますか？押尾委員の話もありましたよね。</p> <p>はい。一つだけ良いですか？山武SNSというのがあるのですけど…。</p> <p>はい、先にこれやってしましましょう。急いで申し訳ないのですが、次に、左千夫記念事業、この事業についてご提案申しあげますので、ひとつご意見を頂きたいと思いますので、宜しくお願いします。こ</p>

古川委員 会長	<p>これは新規事業です。</p> <p>伊藤左千夫さんというのは成東出身の人ですか。</p> <p>成東出身の人だよ。</p> <p>ではこれは、新規事業ですけど、ご提案に賛成ということでよろしいでしょうか。</p>
会長	<p>(会場より「はい」の声あり)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それで一応、全ての事業について賛成ということで、付帯事項については事務局のほうでまとめてください。</p>
周東委員	<p>5番の事業は一度却下したらいいよ。何か勝手に決めてき、あんなもの、いらないうっていうんだよ。全部賛成ではないよ。</p>
会長 事務局 会長	<p>では、お願いします。</p> <p>はい、わかりました。</p> <p>ちょっと待ってくださいね、周東委員。一応これで6番目まで終わりましたけれども、では何かご意見くれる？</p>
周東委員	<p>5番の市民提案型交流のまちづくり推進事業っていうのね、色々問題がある。誰がどう審査したのかもわからないし。それを説明してくれと。</p>
会長	<p>確かに一番分かりづらいのがこの市民提案型交流のまちづくり推進事業。内容がよくわからないというのが、我々の意見だから、場合によっては、機会があれば、担当者にもう一度説明してもらいたいと。それで周東委員からも押尾委員からも出たし、古川委員からも出たけど、審査の経緯がわからないと。これについては、改めて説明をしてほしいということで、お願いしておいてください。</p>
野中委員 会長	<p>それで一応、審議事項は終わりましたけれども、その他がございませぬ。その他につきましては、私の方からお願いをしたいのですが、松尾に松尾地域賑わい空間創出研究会という組織がありまして、松尾出張所等解体後の跡地をどうしようかということで、色々検討したことがあるのです。それは秋葉委員等もいつも出席しているんですけど。この間、色々な方向付けが出て、それを松尾地域賑わい空間創出研究会で発表したという話も聞いているんですけど。それで、この問題もいつまでも伸ばしてもいられないと。ある程度、この松尾地区地域審議会でも方向づけをしようというような考えを、この前、大津副会長と私で協議したのです。それで、市と調整しまして、10月5日の14時から、松尾の農村環境改善センターでその問題について、協議したいという事を市から言われましたので、それをひとつ、ご承知いただきたいと思えます。改めてご案内を申し上げますので、あ、来ている？</p> <p>来ていますよ。最初に。</p> <p>すみません。来ているそうですが、それでひとつご了解を頂きたいと思えます。</p>

古川委員	<p>松尾地区地域審議会での問題が少し残っているかもしれませんが、その辺も含めまして、時間があればご検討いただきたいと考えておりますので、宜しくお願ひしたいと思ひます。</p>
会長	<p>ちなみに前回に申し上げました通学路の件は、土木課の方で少し動き始めてくれました。</p>
事務局	<p>そうですか。それ、また報告してもらったらどうでしょう。ではそういうことで、周東委員はよろしいですか。それでは、長時間にわたりまして色々ご審議を頂きまして、ありがとうございます。これを持ちまして…。</p>
会長	<p>大橋委員のご質問はどうでしょうか。先ほどお話があった、「誰もが幸せを実感できる独立都市さんむ」の話は、次回でよろしいですか？</p>
事務局	<p>どうぞ。</p>
古川委員	<p>ご説明させていただきます。座って失礼します。将来都市像という事で、総合計画の中に「誰もが幸せを実感できる独立都市さんむ」と書いてございます。これは、平成18年に山武市が新しく生まれまして、この地域に住む市民の皆様、お一人お一人がしっかりと生活ができるような地域であつて、特に幸せを実感できるという事が、山武市が合併したという存在意義といひますか、山武市そのものが生まれたという事の意義であろうと。そういったことで、皆様はしっかりと生活が営め、幸せを実感できるという事に他ならないと。また、独立都市というのが、市の場合はどうしても国や県などからの束縛とか助けを受けて運営をしているところがござひますけれども、そういったところからの支援等も受けられないような、市独自が自己決定をして、また自己責任と努力で山武市を新しく作り上げて行こうということ、市民の皆様お一人お一人が幸せを実感できて、また市そのものが、他の、国や県、そういうところの助けを得ずに、自分で、自らが決定して市を運営して行くのだという、強い将来に向けての思いを書いてあるわけでございます。</p>
大橋委員	<p>要は、行政というのは、あやふやにして、はっきりこうだこうだといふのは分からないところが良いところなのだよ。</p>
古川委員	<p>それは分かるけどさ、事務局さんさ、ちょっとね、要するにとりあえず今後は合併しませんよ、そういう意味で捉えて良いですか。例えば船橋市みたいに大きい自治体と合併すれば政令都市みたいになれるというよな、そういう欲を横目でこう…。</p>
会長	<p>いやそういうのも、旧松尾町が良い例ではないですか。住民の意向とは反対に合併したからこういうふうになったのですよ。要は、議員なり何なりを、いかにしてどの人が良いかと選ぶのが私達の仕事なのですよ。</p>
大橋委員	<p>今、大橋委員がおっしゃったこと、この基本理念の「ともに携える」これをもってまちづくりと。意味が抽象的で…。</p>
	<p>会長、山武市の根幹にかかわる、独立都市を謳っていることは、やは</p>

<p>会長 大橋委員</p>	<p>り大事なことだと、私は思う。玉虫色ではだめなのですよ。だから僕は 敢えて言ったのであって。 これは難しい問題でね…。</p>
<p>会長</p>	<p>だから、最終的には、住民の人が決めることだと思うけども、とりあ えずは他の自治体と合併せずにやっていきますよと、私は勝手にそう解 釈していますが、それでいいのかなという事なのだね。 ここにね、基本構想と基本計画と、実施計画というのがあるのです ね。この基本構想というのは大体、大綱的なものをうたうわけですよ。 その下に実施計画といった、もっと具体的に謳う形をとっているわけ です。でもこれはやはり先ほども言ったように、市から説明をしてもらっ て、それで大橋委員が納得すればそれでよろしいかと思えます。</p>
<p>周東委員</p>	<p>それから、まちづくり報告書はありませんか？平成23年度分はあるの ですが、平成24年度分が手元にないのです。</p>
<p>事務局</p>	<p>まだ出来てないのですよ。平成24年度分というのは、平成23年度に調 査を実施したものの報告書なのですが、現在分析しているところな のです。そのうち、お送りします。もう少々お待ちください。</p>
<p>周東委員</p>	<p>では結果を判断して、あの書類を作ったのではないということ ですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>まちづくりアンケートなどをやっていますから。当然その結果は出 ています。本日お配りしています。ですから、そういうものも全部、目標 値を図る材料になっていますから。大丈夫です。</p>
<p>会長</p>	<p>それではよろしいでしょうか。長時間どうもありがとうございました。 た。</p>
	<p>(終わり)</p>